

ご存知ですか？

闘病記文庫

皆さん、大阪公立大学の図書館に、闘病記のコーナーがあることをご存知ですか？
「闘病記」とは、病気や障害を抱えた人びととその家族が病気と闘った手記です。闘病記には、その人がどのように病気を乗り越えたのか、どのように障害とともに暮らしているのか、家族はどのような気持ちになり助けとなったのか、など日々の様子や気持ちが綴られています。

羽曳野図書センター闘病記文庫【さくらんぼ】には、約2000冊、阿倍野医学図書館闘病記コーナーには、約600冊の蔵書があります。

闘病記を読むことの意味

- * 病いとともに生きる人を広く理解することができる
- * 病いとともに生きる人とその家族の生活を想像したり理解したりすることにつながる
- * 生と死を考える機会となる
- * 自己をみつめる機会となる
- * 医療や介護を学ぶ学生にとっては、病いとともに生きる人を理解し、ケアを実践していく上での手がかりとなる



羽曳野図書センター闘病記文庫【さくらんぼ】



羽曳野図書センター2階入口のカウンターに向かって右奥にあります。
読書や自己学習ができるライブラリーラウンジも設けられています。
詳細は、本学ホームページの闘病記文庫【さくらんぼ】をご覧ください。



<http://www.nursing.osakafu-u.ac.jp/center/cerry/>

阿倍野医学図書館【闘病記コーナー】

あべのメディックス9階（総合窓口と図書・雑誌のフロア）に設置されています。
詳細は、阿倍野医学図書館ホームページの【闘病記】をご覧ください。



CTN



<https://lib.omu.ac.jp/abeno/tobyoki>

闘病記貸出冊数ベスト10

著者	書名
木藤亜也	1リットルの涙：難病と闘い続ける少女亜也の日記
木藤潮香	いのちのハードル：「1リットルの涙」母の手記
小林和彦	ボクには世界がこう見えていた：統合失調症闘病記
安武信吾, 安武千恵 安武はな	はなちゃんのみそ汁
児島美都子	ガンの夫を自宅で看取る ：医療ソーシャルワーカーの介護日記から
横山文野, 山口智久	その夜、妻に最期のキスをした。
窪田陽子	パパからのプレゼント
岡田典子文；岡田美穂絵	みぼりんのえくぼ
向井亜紀	16週：あなたといた幸せな時間
高地哲夫	ある末期がん患者のつぶやき

羽曳野図書センター・阿倍野医学図書館の闘病記コーナーの図書は、利用しやすいように「病気」別に並んでいます。ぜひ、気になる図書を手に取り、病気や障害を抱えた人びとと家族への理解を深めることに役立ててください。

【羽曳野図書センター】

〒583-8555
大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号
羽曳野キャンパスN棟
Tel 072-950-2956
<https://lib.omu.ac.jp/habikino>



【阿倍野医学図書館】

〒545-0051
大阪市阿倍野区旭町1-2-7
あべのメディックス9階・8階
Tel 06-6645-3491
<https://lib.omu.ac.jp/abeno>



※開館情報等、詳しい情報は、羽曳野図書センターおよび阿倍野医学図書館ホームページでご確認ください。